

とちぎの在宅医療ナビ

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）という言葉が医療現場で使われるようになりました。「将来の意思決定能力の低下に備えて、患者さんや家族とケア全体の目標や具体的な治療・療養について話し合う過程（プロセス）」と定義



村井邦彦医師

されますが、簡単に言えば「もしものための話し合い」です。このプロセスでは、「もしもの時」に自分がどんな医療を受けたいか、または受けたくないか、残された時間をどのように生きるのか、人生の目標や価値観などを前もって大切な人たちと話し合い、考え方を共有することが大切です。ある70代の認知症高齢者のお話です。Aさんは主人を亡くしてから縁側で陽なたぼっこをして過ごす

アドバンス・ケア・プランニング

時間が増え、次第にもの忘れが目立つようになり、買った物や炊事も難しくなったので、グループホームに入居しました。2年がたつと食事をしなくなり、介助をしても吐き出してしまいます。私は「本人の意思を推測すると、胃ろうを望むでしょうか。やらなくてもいいですか」と、4代のご長男に相談をする立場です。ご長男は「母親の命を左右する決断が自分ができるのか」と苦しみました。遠方の娘さんは「兄

に任せてあります」と答えます。どのようにご家族の

「もしも」に備え話し合い

意思決定をお手伝いするとよいのでしょうか。

ACPが必要な背景には、医療技術の進歩に伴う

私のリビング・ウィル
— 延命治療の意思表明カード —

このカードは医療従事者や介護関係者といっしょに大切に保管してください。

私の病気が悪化するなど、重症の見込みがな
く死期が近づいているときの「延命治療」に
ついて、以下のとおり、希望します。

延命治療を希望する。
 延命治療を希望しないが、苦痛をやわ
らげるための最大限の処置を希望する。

私が、上記のとおり、考える理由

記入した日 年 月 日
本人氏名 _____
話し合った人の氏名 (私上の関係) _____
医師と話し合った日 年 月 日

「延命治療とは？」
目標の見込みがなく、死期が近づいている患者に、人工呼吸器をつけたり、鼻や腹部にチューブを通して栄養を送るなど、生命を維持する治療のことをいいます。

「緊急事態を呼び出すべき判断等が迷わないために」
「延命治療を呼び出すこと」は「病院で可能ななかぎり」の延命治療を望む意思表示になります。あなたが延命治療を希望せず、住み慣れた家や施設で、人生の最期のときを過ごしたいと望むなら、家族や施設の方が緊急事態を呼び出すかわらないように、ご本人から、家族や施設の方、また医師ともよく話し合い、あなたの「延命治療」に関する意思を表明しておくことが大切です。

自治会での配布、介護に関するイベント、
学習教室、市民説明会イベント、
宇都宮市保健福祉課生活支援課 電話 028-632-5328
〒320-8542 宇都宮市保健福祉課生活支援課
〒320-8542 宇都宮市保健福祉課生活支援課
TEL 028-632-5328 FAX 028-632-5040

宇都宮市が作成した延命治療の意思表明カード

長寿があります。慢性的な病気を抱えても日常生活が送れるようになった半面、人工呼吸や胃ろう、血液透析などの導入・中止の判断が難しくなりました。治す医療や延命治療が進んだ結果、「こんな最期を迎えるはずではなかった」と思う方がいます。人間の尊厳を考えれば、慢性期医療の目的は「治す・死なない」ではなく、「その人らしい生き方・家族の納得」であるべきです。人生の最期に「これでよかった」と思っていただけのように、一緒に考えていければと思つていま

(村井クリニック院長・村井邦彦)
(毎週金曜日掲載)